

# 全国における主な死傷者火災

## 長崎県大村市グループホーム火災

○H18年1月8日 2時19分頃  
○規模等:耐火一部木造平屋建279㎡  
○消防用設備等:消火器・誘導灯



○教訓  
・119番通報の遅れ  
・初期消火の失敗  
・避難誘導未実施  
・警報設備の未設置(義務対象外)  
・夜間職員1名

## 群馬県渋川市老人ホーム火災(未届有料老人ホーム)

○H21年3月19日 22時45分頃  
○規模等:木造平屋建て3棟  
○消防用設備:消火器・誘導灯(自火報は未設置)



○教訓  
・119番通報未実施  
・初期消火未実施  
・避難誘導未実施(別館)  
・夜間職員1名  
・出口が容易に解錠できない形状  
・木造で延焼拡大が早い  
・喫煙等火気管理不徹底

年	火災	死者	負傷者	用途	出火原因
H14	新宿区歌舞伎町雑居ビル火災	44	3	複合雑居ビル	不明
H18	長崎県大村市グループホーム火災	7	3	認知症高齢者グループホーム	ライターによる着火の可能性
H19	宝塚市カラオケボックス火災	3	5	カラオケボックス	天ぷら油からの出火
H20	札幌市風俗店火災	3	0	特殊浴場	不明
	大阪市個室ビデオ火災	15	10	複合雑居ビル	放火
H21	渋川市老人ホーム火災	10	1	老人ホーム(未届)	不明
	杉並区高円寺雑居ビル火災	4	12	複合雑居ビル	2階厨房グリル付近から出火
H22	札幌市グループホーム火災	7	2	認知症高齢者グループホーム	1階食堂の石油ストーブの天板上に綿製品が接触により着火
H24	福山市ホテル火災	7	3	ホテル	たばこ・電気配線等の要因があるが特定できず
H25	長崎市グループホーム火災	5	7	認知症高齢者グループホーム	2階居室の加湿器から出火(リコール対象)
	福岡市診療所火災	10	5	有床診療所	1階処置室内の電気機器の電源プラグからの過熱・ショートの可能性
H27	川崎市簡易宿泊所火災	11	17	簡易宿泊所	1階ホール付近への放火
	広島市飲食店火災	3	3	飲食店ビル	南西階段付近から出火について調査中

## 札幌市グループホーム火災



○H22年3月13日 2時25分  
○規模等:防火造2階建延248㎡  
○消防用設備:消火器具・誘導灯・住宅用火災警報器  
○教訓  
・119番通報の遅れ(避難後屋外から通報)  
・警報設備未設置(猶予期間)  
・夜間職員1名

## 長崎市グループホーム火災



○H25年2月8日 19時43分  
○規模等:581㎡(1・2階をGH)  
○消防用設備:消火器・自火報・火災通報装置、誘導灯  
○教訓  
・119番通報未実施(火災通報装置未操作)  
・初期消火未実施(消防訓練不十分)  
・防火戸不適合

## 福岡市診療所火災



○H25年10月11日 2時22分  
○規模等:4階建 681㎡  
○消防用設備:消火器・屋内消火栓・自火報・避難器具・誘導灯  
○教訓  
・通報未実施(通行タクシーに依頼)  
・初期消火未実施(訓練不十分)  
・避難誘導未実施

被害が拡大した要因を見ると、火災発生時の初期対応がしっかりとなされていれば、被害を軽減できた可能性が高い。

ソフト・ハード両面での対策が必要

### <ソフト面での対策>

- ・従業員への教育～すべての従業員が適切に対応できるように。
- ・効果的な訓練の実施～建物や入居者の状況に応じた内容で。
- ・近隣との協力体制～応援体制等の連携強化のため、日頃からの地域との繋がりを構築。

### <ハード面での対策>

- ・スプリンクラー設備の設置強化(H27)～初期消火が期待、避難時間が確保できる。
- ・自動火災報知設備と火災通報装置の連動(H27)～少人数の従業員で消火・避難に専念。
- ・防災機能を有した素材の導入～カーテン・絨毯のほか、布団なども防災製品を推奨。